









Pyramix Virtual Studioは、非常にパワフルなオートメーション機能を備えています。

この章では、オートメーションの内部コントロールの操作法について記述します。 Ramses MSCやISISコントローラーによる操作法については、各マニュアルをご参照ください。

# マスター・オートメーション・コントロール

# ダイナミック・オートメーション・モード

オートメーションのモードは、Automationツール・バーのボタン(またはAutomationメニュー)で設定します。 これらは、ミキサー全体をダイナミック・オートメーション・モードに設定します。 個々のコントロールは、モードの状態に応じて反応します。

オートメーション・モードの設定は、Pyramixメイン・ウィンドウの右下に表示されているツール・バーを使用します。 ツール・バーは、On/Off, PlayおよびWriteボタンに加えて、スナップショット・オートメーションで使用する2種類の カメラアイコンから構成されます。





On/Offボタンは、ダイナミック・オートメーションをOffにする時のみ使用します。 Offの場合、オートメーションの再生 / 書き込みは一切行われません。

PlayまたはWriteボタンをクリックするとOn/OffボタンはOnになり、オートメーション情報を再生します。 新たなオートメーション・データの書き込みは、Writeボタンが点灯している場合のみ行えます。

LAT

Playボタンを押すと緑色に点灯します。

このモードにおいて、コントロールをPlayまたはAuto-Writeに設定すると、既存のオートメーション・デ ータ(またはデフォルト値)を再生します。コントロールをIsolateまたはRecordに設定すると、最新の値 を維持します。新しいデータは記録されません。

Recordボタンを押すと赤く点灯します。

このモードにおいて、コントロールをRecordに設定すると、最新の値を上書きで書き込んでいきます。 コントロールをAuto-Writeに設定すると、オートメーション・データを再生しながら、変更データの書き込 みが行えます。コントロールをPlayに設定すると、既存のオートメーション・データを再生します。 コントロールをIsolateに設定すると、最新の値を維持します。新しいデータは記録されません。

Offボタンは、PlayまたはRecordモードのダイナミック・オートメーションをOffに切り替えます。

## スナップショット・オートメーション



Snapshotボタンは、現在のミキサー状態をオートメーション・イベント(キー・フレーム)としてカーソルの 位置へ挿入します。



Snapshot Rangeボタンは、カーソル位置のミキサー状態をスナップショットして、Mark InとMark Out で設定した区間にオートメーション・データとして挿入します。



# ダイナミック・オートメーション・モード

ミキサーの個々のコントロールは、4種類ダイナミック・オートメーション・モードに切り替えることができます。 これらのオートメーション・モードは、コントロール別,ストリップ別,バス別,グループ別またはミキサー全体での設 定が可能です。

既存のモードは、以下のようにインジケーターの表示 / 非表示, 色によって示されます。



Dynamic Automation Mode Indicators

#### Auto-Write

🌑 インジケーターは何も表示されません。(デフォルト)

マスター・オートメーション・コントロールがPlayまたはWriteモードで、トランスポートをPlayしたとき、既存のオート メーション・データを再生します。

Writeモードの場合は、コントロールを変更すると(そのコントロールをリリースするまで)新しいオートメーション・デ ータを記録します。 このモードは、オートメーション・データを再生しながら、上書きする際に便利です。

コントロールをリリースしたとき(或いはトランスポートをStopしたとき)の動作は、Automationメニューの選択と Automation > Automation Settingsページ内の値で設定します。

#### Write

🛑 各コントロールの左上に、赤い三角のインジケーターが点灯します。

マスター・オートメーション・コントロールがWriteモードで、トランスポートをPlayしたとき、すべてのコントロールを オートメーション・データとして記録します。

#### Read

🌑 各コントロールの左上に、緑の三角のインジケーターが点灯します。

記録した最新のオートメーション・データを再生します。 オートメーション・データが無い場合は、デフォルト値を維持します。

Isolate(アイソレート)

🕐 各コントロールの左上に、黒い三角のインジケーターが点灯します。

既に記録されているオートメーション・データとコントロールが隔離され、リアルタイム操作が行えます。 コントロールの変更は、オートメーション・データに影響しません。



# オートメーション・モードの選択

デフォルト・モード

デフォルトのモードは、Auto-Writeです。

コントロールを変更すると、オートメーション・データが自動的に上書きされます。

ミキサー全体

ミキサー全体を対象にオートメーション・モードを設定する場合、ミキサーパネル上の右クリック・メニューでMixer > Automationメニューを開き、サブメニューの中から任意のモードを選択してください。



Mixer context menu Mixer Automation sub-menu

# ファンクション・ブロック,ストリップ,バスまたはミキサー全体

ミキサーのチャンネル・ストリップ上において、各ファンクション・ブロック(例:フェーダー,PAN)を対象に設定する 場合、各ブロック上で右クリック・メニューのAutomationメニューを開き、サブメニューの中から任意のモードを選 択してください。

Peak	×	
Automation	•	Isolate
Add VS3 Effect	+	Play
		Record
Add VST Plug-In	•	Auto-Write
Strip	•	
Bus	•	
Mixer	•	
Memory	•	
Settings	×.	
Show VS3 Plug-Ins Info		
Show Distribution		

Automation sub-menu



任意のチャンネル・ストリップやバス、ミキサー全体を対象に設定を行う場合、任意の場所で右クリック・メニューの Strip, BusまたはMixer > Automationメニューを開き、サブメニューの中から任意のモードを選択してください。



Auto-Write & Release E - F

コントロールの変更またはリリースする際の動作は、Automationメニューの設定に依存します。

Auto-Write Mode - Write & Release	コントロールを変更した時点から新しいパスを記録し始めます。コン
	トロールをリリースした時点(或いはトランスポートをStop)で記録を
	やめます。
Auto-Write Mode - Write & Hold	コントロールを変更した時点から新しいパスを記録し始めます。コン
	トロールをリリースしても値を保持しながら上書きを続け、トランスポ
	ートをStopした時点で記録をやめます。
Auto-Write Mode – Trim & Release	Write & Releaseの動作に従って、オートメーション・カーブのトリム
	変更を記録します。
Auto-Write Mode – Trim & Hold	Write & Holdの動作に従って、オートメーション・カーブのトリム変
	更を記録します。
Release Mode – Snap	コントロールをリリースしたとき、現在の値から前回のパスで記録し
	た値まで直線的(カットアウト)に戻ります。
Release Mode - Auto-Release	コントロールをリリースしたとき、現在の値から前回のパスで記録し
	た値まで一定の時間をかけて補間(フェード)しながら戻ります。この
	時間の長さは、Automation Settings > Auto- Release Timeに
	て定義します。
Release Mode – Write to Next	コントロールをリリースしたとき、現在の値を次のオートメーション・ポ
	イントまで保持します。
Release Mode – Write to End	コントロールをリリースしたとき、現在の値を最後まで保持し続けま
	す。前回のパスやオートメーション・ポイントはすべて無視されます。
Release Auto-Writing(Ctrl + Alt + Esc)	現在記録しているすべてのコントロールをリリースします。

**Note: Ctrl + Alt + ESC**キーで、**Auto-Write**をリリースします。

Automationメニューの設定に対して、キーボードの装飾キーは一時的な割り込みができます。 次のページをご覧ください。





#### コントロールを変更するとき:

Ctrl :	Write & Releaseモードで動作します
Ctrl + Alt :	Write & Holdモードで動作します
Ctrl + Shift :	<b>Trim &amp; Release</b> モードで動作します
Ctrl + Shift + Alt :	Trim & Holdモードで動作します

コントロールをリリースするとき:Ctrl:Snapモードで動作しますShift:Auto-Releaseモードで動作しますCtrl + Shift:Write to Nextモードで動作しますCtrl + Shift + Alt:Hold & Write to Nextモードで動作します

ハードウェア・リモート・コントローラー

Merging社のRamses MSCやOASISのような外部リモートコントロールを使用する場合、オートメーション・モードの切り替え操作は(専用ボタンなど)それぞれのハードウェアに依存します。

# オートメーションを含む既存のプロジェクト

ダイナミック・オートメーションが記録された既存のプロジェクトを開く際、ミキサーの再構築などで既に存在しない オートメーション・トラックがある場合に以下のダイアログが現れます:

Unlinked A	utomation data found	<b>X</b>
1	Automation tracks contain data referring to elements t Do you want to flush this data?	hat no longer exist.
	<u>Y</u> es	<u>N</u> o

Yesをクリックすると余分なデータを削除します。Noをクリックするとデータを保持します。

## オートメーション・データの表示と編集

オートメーション・データは、タイムライン上で表示 / 編集することが可能です。

トラック・ヘッダーの A Show/Hide Automationボタンをクリックすると、オートメーションの表示 / 非表示が切り替わります。オートメーションのカーブは、パラメーター別に色分けして表示されます。

### オートメーション・カーブの色分け

Fader	青
Pan / Balance / Surround	緑
Send & On/Off	シアン
Mute	赤
All others	黒





## Track Automationメニュー

Show/Hide Automationボタン( A 右クリックすると、トラック毎のAutomationメニューが表示されます。 この時、メニューに表示される内容は、オートメーション・データの有無によって変化します。

	Gain Bus 1   Gain	
	Fader Gain	
	Mute	
	Panning •	
	Sends •	
	More •	
	All	
✓	Auto Display	
	Init	
	Snapshot	
	Snapshot Region	
	Delete Points & Interpolate	
	Delete Points	
	Trim	

Gain Bus 1   Gain	現在表示されているオートメーション・カーブの設定を示します。
Fader Gain	オートメーション・カーブの表示内容をFader Gainに設定します。
Mute	オートメーション・カーブの表示内容をMuteに設定します。
Panning	オートメーション・カーブの表示内容をサブメニューから選択した <b>パンニング</b> に
	設定します。サブメニューの内容は、ミキサーのストリップやバス構成によって
	表示が変わります; Pan, Balance, Left/Right Pan {bus} Front Rear Pan
	{bus}
Sends	オートメーション・カーブの表示内容をサブメニューから選択した <b>センド</b> に設定し
	ます。サブメニューの内容は、バス構成によって表示が変わります; Aux, Sub
	Group
More	オートメーション・カーブの表示内容をサブメニューから選択したパラメーターに
	設定します。

**Note:** "Auto Display"をチェックでONにした場合、そのトラック上で最後にコントロールしたパラメーター(フェーダー, PANなど)のオートメーション情報が自動的に表示されます。





All	Select Displayed Automation Trackダイアログを開きます。	
	Select Displayed Automation Track	
	<ul> <li>Mixer</li> <li>Mono (Strip 1 - Mono)</li> <li>Mono (Strip 2 - Mono)</li> <li>Mono (Strip 3 - Mono)</li> <li>Mono (Strip 4 - Mono)</li> <li>Stereo (Strip 5 - Stereo)</li> <li>Stereo (Strip 6 - Stereo)</li> <li>GPS (Strip 7 - GPS)</li> <li>GPS (Strip 8 - GPS)</li> <li>VCA1 (Strip 9 - Group)</li> <li>VCA2 (Strip 10 - Group)</li> <li>VCA2 (Strip 11 - Aux)</li> <li>Aux (Strip 12 - Aux)</li> <li>Stereo Mix (Strip 13 - Stereo Mix)</li> <li>Stereo Mix (Strip 14 - Surround Mix)</li> <li>RTFX Inserts</li> <li>Gain Bus 1</li> <li>Mute Bus 1</li> </ul>	
	<ul> <li>Hide empty tracks Only connected strip / bus</li> <li>Display the selection in an extra automation sub-track</li> <li>OK Cancel</li> </ul>	

すべてのストリップおよびバスにおいてオートメーションが可能なパラメーターをすべて表示します。

各フォルダの左にある+記号をクリックするとツリーが展開し、パラメーターの種類が示されます。 オートメーション・データを表示したいパラメーターを選択してください。

#### Hide Empty Tracks

チェックすると(デフォルト)、オートメーション・データが書かれていないトラックは表示されません。

#### Display the selection in an extra automation sub-track

選択したパラメーターのオートメーション・データを新たにサブトラックを作成して表示します。任意のパラメーターを選択し、チェックボックスにチェックを入れてOKボタンをクリックしてください。

#### Only connected strip / bus

チェックすると(デフォルト)、現在のストリップまたはバスのパラメーターのみ表示されます。 チェックを外すと、ミキサー上で有効なパラメーターがすべて表示されます。

#### ΟΚ

選択したパラメーターを適用してダイアログを閉じます。

#### Cancel

選択したパラメーターをキャンセルしてダイアログを閉じます。





Auto Display(デフォルト:ON)	Auto DisplayをチェックでONにした場合、そのトラック上で最後にコントロー
	ルしたパラメーター(フェーダー, PANなど)のオートメーション情報が表示さ
	れます。

Note: トラックの特定のパラメーターを表示したい場合、Auto DisplayはOFFに設定してください。

Init	マウス編集のためのオートメーション・トラックを作成します。初期バージョン
	は、現在のミキサー状態が反映されます。
Snapshot	現在のカーソル位置でのコントロール情報をスナップショットし、イベント情報
	として書き込みます。
Snapshot Region	現在のカーソル位置でのコントロール情報をスナップショットし、選択した範囲
	にイベント情報として書き込みます。
Delete Points & Interpolate	選択したセレクションにあるすべてのオートメーション・ポイントを削除し、セレ
	クションの始点と終点のポイントでオートメーション・カーブを補完します。
Delete Points	選択した範囲にあるすべてのオートメーション・ポイントを削除します。
Trim	次のページをご覧下さい

#### Trim

範囲選択をしてフェーダーゲインに対するオートメーションのトリムを調整したい場合に使用します。 もし範囲選択をしていない場合は、トラック全体がトリムされます。

メニューを選択すると、以下のダイアログ・ボックスが開きます。

(	Trim Autom	ation	×
300	Trim	5	dB
	Fade	40	[ms]
	ОК	Ca	ncel

Trimボックスには、トリムする値をdB単位で入力することができます。- (マイナス)の場合は、先にタイプしてから数値を入れてください。Fadeボックスには、フェードする値をms単位で入力することができます。選択した範囲の前後で、オリジナルの値からフェードイン / アウトする長さを定義できます。



## オートメーション・トラック・バージョンの表示

Automation > Automation Tracksメニューを選択すると、Automation Tracks Timesウィンドウが開きます:

Image: Mixer       Image: Mixer <td< th=""><th>Automated Controls</th><th>Automation Tracks Times (Double-click to recall most rec</th><th>ent versions for the whole branch)</th></td<>	Automated Controls	Automation Tracks Times (Double-click to recall most rec	ent versions for the whole branch)
Gain Mute Bus 1 Delete All	Mixer Mono (Strip 1 - Mono) Mono (Strip 2 - Mono) Mono (Strip 3 - Mono) Mono (Strip 3 - Mono) Stereo (Strip 5 - Stereo) GPS (Strip 6 - Stereo) GPS (Strip 6 - Stereo) Mux (Strip 9 - Aux) Mux (Strip 10 - Aux) Stereo Mix (Strip 11 - Stereo Mix) Surround Mix (Strip 12 - Surround Mix) Gain Bus 1 Mute Bus 1 Mute Bus 1	08/13/10 14:43:03         08/14/10 11:05:43         08/14/10 12:00:48         08/14/10 12:28:34         08/14/10 12:37:56         08/14/10 12:42:38         08/15/10 09:33:52         08/15/10 09:41:42         08/16/10 21:23:55         08/21/10 10:10:30         08/21/10 11:23:11         08/21/10 11:26:04	Label Current Version Lock Current Version Unlock Current Version Export Current Version Unlock All Versions Clean Up Versions Delete All Versions Clean Up All Tracks

### **Automated Controls**

Automated Controlsパネルには、現在オートメート可能なコントロールがツリー構造で表示されます。 最新のコントロール情報は、自動的に選択されて表示されます。Automation Tracks Versionsパネルには、選 択したコントロールにおけるオートメーション・パスの履歴がツリー構造ですべて表示されます。任意のパスをダブ ルクリックすると、現在のバージョンとしてタイムラインに反映します。反映したオートメーションを上書きで記録した 場合、サブ・ツリーとなってパスを保有します。

Label Current Version	選択したコントロールに名前を付けて、最新バージョンとしてコピー保存し、 Lockします。Automated Controlsにて"Mixer"を選択した場合は、ミキサー
	全体のオートメーション・バージョンがコピー保存&Lockされるので管理がし
	やすくなります。
Lock Current Version	選択したコントロールのバージョンをLockします
Unlock Current Version	選択したコントロールのバージョンをUnlockします
Delete Current Version	選択したコントロールのバージョンを削除します。
	次に作成したパスの名前には、再度ナンバーがふられます。
Export Current Version	現在のトラックをXMLファイルとしてエキスポートします。
Unlock All Versions	ツリー内のすべてのバージョンをUnlockします。
Clean Up Versions	選択したコントロールの最新バージョンを除いた、それ以外のすべてのバー
	ジョンを削除します。
Delete All Versions	選択したコントロールのオートメーション・パスをすべて削除します。
Clean Up All Tracks	すべてのトラックに対して、最新バージョンを除く、それ以外のすべてのバー
	ジョンを削除します
Delete All Tracks	すべてのトラックのオートメーションを削除します。





### バージョンのLock

### Lockしたパージョンは、以下でも保持されます:

- Clean Up Versionsボタンをクリックしたとき
- Clean Up All Tracksボタンをクリックしたとき
- Automation Settingsの"Keep only current and locked versions while saving"がチェックされているとき
- Automation Settingsの"Limit versions to the number of Undo/Redo"がチェックされているとき

### Lockしたパージョンは、以下では削除されます:

- Delete Current Versionボタンをクリックしたとき
- Delete All Versionsボタンをクリックしたとき
- Delete All Tracksボタンをクリックしたとき

### Masters Controls Link

ドロップダウン・リストは、Auto-Rippleモードで編集を行う際にミキサーのマスター・コントロールとどのようにリンク 動作を行うかを設定します。

- Independent(トラックの編集操作は、マスターに影響しません)
- Linked to Any Track(同期を要する編集操作は、すべてマスター・コントロールに影響します)
- Linked to Any Track without a Group
- Link to Track Group A, B, C, etc...

### オートメーション・ポイント

Automation Pointsボックスには、オートメーション・ポイントの数が表示されます。

### 複数のオートメーション・パラメーターを表示する

1つのトラックに対して複数のオートメーション・パラメーターを表示したい場合、パラメーター毎にAutomationサ プトラックを作成してください。詳細は、Track&Trackグループの章の"Automationサプトラック"をご参照ください。

### Undo/Redo

Edit > Undo/Redoメニューは、オートメーションにも対応しています。



# クリップの編集とオートメーション

### 概要

トラック上のクリップには、同時にオートメーション・データが存在します。

Edit > Automation Editingメニューでは、タイムライン上でクリップを編集する際にオートメーション・データをどのように反映させるかを設定することができます。

Source-Destination			
Automation Editing	•	A	Enable Automation Editing
Jog-Wheel Editing		ВH	Cut/Copy/Delete Displayed Automation
		<b>₽</b> ₩ †∔††	Cut/Copy/Delete Whole Strip Automation
		₿.× ₩	Erase Points on Cut/Delete
		2×	Delete and Interpolate on Cut/Delete
		۵¢	Delete and Maintain on Cut/Delete

#### Automation Editingメニュー

Enable Automation Editing	デフォルトで有効に設定されています。
	クリップの編集はオートメーション・データにも反映されます。
Cut/Copy/Delete Displayed	オートメーションを表示させた状態でクリップの編集を行う場合のみ、オートメ
Automation	ーション・データに反映されます。
Cut/Copy/Delete Whole Strip	デフォルトで有効に設定されています。
Automation	オートメーション・データの表示/非表示の状態に関わらず、クリップの編集が
	オートメーション・データに反映されます。
Erase Points on Cut/Delete	CutまたはDeleteした範囲のオートメーション・ポイントは削除され、前後のオ
	ートメーション・ポイントでオートメーション・データを補間します。
Delete and Interpolate on	デフォルトで有効に設定されています。
Cut/Delete	Cut または Delete した範囲にオートメーション・ポイントを作成して、オートメ
	ーション・データを補間します。
Delete and Maintain on	CutまたはDeleteした範囲のオートメーション・データは補間されません。
Cut/Delete	オートメーション・データはフラット状態になります。

# オートメーション・データの編集

オートメーション・カーブの色分け

Fader	青
Pan / Balance / Surround	緑
Send & On/Off	シアン
Mute	赤
All others	黒

マウス操作と装飾キー

左クリック	49	新しいオートメーション・ポイントを作成します。
Ctrl + クリック	Ę	範囲選択をしてオートメーションのトリムを調整します。 必要に応じて、新しいオートメーション・ポイントが自動作成されます。
Alt + クリック	Ø	フリーハンドでオートメーション・カーブを調整できます。





Shift + クリック	Ľ	オートメーション・ポイントを微調整します。 (dB値は <b>0.1dB</b> ステップで変動)
V + クリック	Ľ	オートメーション・ポイントの時間軸をずらさずに <b>垂直方向</b> ヘゲイン値を 調整できます。
H + クリック	Ľ	オートメーション・ポイントのゲイン値をずらさずに <b>水平方向</b> へ時間軸を 調整できます。
クリックホールド + Alt	Ľ	既存のオートメーション・ポイントを左クリックでホールドしたまま Altキーを押してマウスを移動すると、次のオートメーション・ポイントと 同じ値に調整できます。
クリックホールド + Ctrl	Ľ	既存のオートメーション・ポイントを左クリックでホールドしたまま Ctrlキーを押してマウスを移動すると、前のオートメーション・ポイントと 同じ値に調整できます。
クリックホールド + Ctrl + Alt	Ľ	既存のオートメーション・ポイントを左クリックでホールドしたまま Ctrl + Alt キーを押してマウスを移動すると、重なったオートメーション・ ポイントを削除して上書きできます。
Ctrl + Alt + クリック	ą,	既存のオートメーション・ポイントを削除できます。

Automationカーソル

Ę.	オーディションカーブ上で <b>左クリック</b> すると、新しいオートメーション・ポイントが 作成されます。
Ŀ	既存のオートメーション・ポイントを <b>左クリック</b> すると、ポイントを調整できます。
	範囲選択をして <b>Ctrl +クリック</b> すると、オートメーションのトリムを調整できます。
Ø	オーディションカーブ上でAlt <b>+クリック</b> すると、フリーハンドでオートメーションを 調整できます。
ال	既存のオートメーション・ポイントを <b>Ctrl + Alt +クリック</b> すると、ポイントを削除で きます。

Note: オートメーションとエンベロープを同時に表示している場合の見分け方として、オートメーション・ポイントは 形,エンベロープのポイントは 形で表示されています。



#### 編集

オートメーションのデータは、マウスで直接編集することも可能です。マウスがオートメーション・カーブの上に重なると、マウス・ポインターが以下のように変わります。オートメーション・ポイントの上では、イベントの値およびタイムスタンプの情報が表示されます。



イベントを手でつまんでドラッグすることで値を調整できます。また、オートメーション・カーブのどこでもクリックする ことで、新しいイベントを挿入することが可能です。

また、Altキーを押しながらオートメーション・カーブをドラッグすると、マウス・ポインターはペンシルに変わります。 ペンシルでは、フリーハンドでカーブを調整することができます。



### Automationメニューの編集オプション

Delete Selected Points	選択した範囲内にあるすべてのオートメーション・ポイントを削除します。
Cut Selected Points	選択した範囲内にあるすべてのオートメーション・ポイントをカットします。
Copy Selected Points	選択した範囲内にあるすべてのオートメーション・ポイントをコピーします。
Paste Points to Cursor	カットまたはコピーしたオートメーション・ポイントを、選択したトラックのカーソル位置へペーストします。
Paste Points to Original TC	カットまたはコピーしたオートメーション・ポイントを、選択したトラックのオリジ
	ナル・タイムコードへペーストします。



# Filter Automation Tracks to Snapshotダイアログ

このダイアログは、以下のメニューを選択した際に表示されます。

- Automation > Automation Snapshot Cursor
- Automation > Automation Snapshot Range
- Automation > Delete Selected Points & Interpolate
- Automation > Delete Selected Points
- Automation > Cut Selected Points
- Automation > Copy Selected Points

ダイアログでは、これらのメニュー(Cut, Copy, Delete または Snapshot)に対して利用可能なミキサーのパラ メーターを選択することができます。

編集トラック上でクリップやリージョンをしている場合は、そのトラックに関連した情報のみ表示します。

Filter Automation Tracks to Snapshot Cursor
By Strips By Types
⊡
🗄 🖓 💼 Mono (Strip 1 - Mono)
🖶 🐨 🐨 💼 Mono (Strip 2 - Mono)
🗄 🖓 💼 Mono (Strip 3 - Mono)
🗄 🐨 🖉 💼 Mono (Strip 4 - Mono)
🗄 🐨 🔽 💼 Stereo (Strip 5 - Stereo)
🗄 🗹 💼 Stereo (Strip 6 - Stereo)
🖶 🐨 🗹 💼 GPS (Strip 7 - GPS)
🗄 🖳 🗹 💼 GPS (Strip 8 - GPS)
E VCA1 (Strip 9 - Group)
VCA2 (Strip 10 - Group)
⊕ ✓
⊕ ✓ Aux (Strip 12 - Aux)
🕀 🖳 Stereo Mix (Strip 13 - Stereo Mix)
E····      Surround Mix (Strip 14 - Surround Mix)
All Nothing Displayed Last
Maintain to next point To End
OK Cancel

Note: ダイアログのタイトル名は、選択したメニューの内容を反映します。





# Filter Automation Tracks to Snapshotダイアログのオプション

ダイアログ内の上にあるタブは、by Strips または by Types で表示の仕方を切り替えます。

ダイアログ内の下にあるタブは、自動選択の仕方を切り替えます。

All	チェックボックスを全選択
Nothing	チェックボックスを全解除
Displayed	選択したトラックおよびオートメーション・サブトラック上に表示されているコン
	トロールのみを選択
Last	前回選択したコントロールを選択

一部のメニューでは、以下のスイッチが利用可能です。(例: Automation Snapshot Cursorなど)

Maintain to next point	現在のカーソル位置のパラメーターを次のオートメーション・ポイントまで保持	
	します。	
To End	現在のカーソル位置のパラメーターを最後まで保持します。	

Note: 両方にチェックが入った場合は、To Endが優先されます。





### VCAグループのオートメーション編集

VCAグループのオートメーションは、ストリップのオリジナルのオートメーションとVCAグループのオートメーション を合計したオートメーション・カーブを表示します。(ゲインまたはMuteのみ)

VCAグループのオートメーションをタイムライン上で編集することができませんが、ストリップのオートメーション編 集とリンクしてリアルタイムで計算されます。

#### **VCA Coalesce**



VCAグループに属したストリップをグループから外す場合、以下のダイアログが表示されます。



Yes(デフォルト)を選択すると、ストリップのオートメーションとVCAグループのオートメーションの値を合算して1つのカーブにします。



Noを選択すると、VCAグループのオートメーションは削除され、ストリップのオートメーションのみが残ります。

このダイアログの選択は、実行後にUndo/Redoすることができます。





## ストリップ間/プロジェクト間のオートメーション編集

オートメーション・データは、ミキサーで異なる種類のPanを備えたストリップまたはプロジェクト間でCut / Copy / Pasteすることができます。

以下の場合のみ互換があります:

• Pan	Balance
• Balance	Pan
<ul> <li>Left-Right mono surround panner</li> </ul>	Pan
<ul> <li>Left-Right mono surround panner</li> </ul>	Balance
• Pan	Left-Right mono surround panner
Balance	Left-Right mono surround panner

### Automation Buses Reassignmentダイアログ

Automation > Bus Reassignment on PasteがOnに設定されている場合、利用可能なバス構成を示すダイア ログが表示されます。

Automation > Bus Reassignment on PasteがOffに設定されている場合、ターゲットとなるミキサーで利用できないバス構成がある場合のみ以下のダイアログが表示されます。

Automation Buses Re	eassignment
Clipboard Automation Bus	Mixer Buses Destination
Stereo Bus 2 Stereo Bus 1 Surround Bus 1 Aux Bus 1	Surround Bus 1 Stereo Bus 1 Stereo Bus 2 Mono Bus 1 Aux Bus 1 Group Bus 1
	OK Cancel

Bus Reassignmentダイアログの左側は、現在クリップボードにあるオートメーション・データのバス情報が表示されます。

Bus Reassignmentダイアログの右側は、現在のプロジェクトのミキサーで利用可能なバス情報が表示されます。

デフォルトでは、ダイアログの左側で選択したバスの種類と一致するバスを判別してアサインします。





スクリーンショットでは、 例えば Surround Bus 1 は Surround Bus 1 に、 Stereo Bus 1 は Stereo Bus 1 にアサインされます。

このダイアログでは、以下のことが可能です:

- コピーしたオートメーション・トラックを、類似した(または異なった)バスタイプをもったストリップへペーストできます。(例:SR1からST1へ)
- コピーしたオートメーション・トラックを、異なる種類のストリップへペーストできます。 (例: MONO, MS, Stereo, GPS)







# Automation Settingsページ

#### All Settings > Application > Automationを選択します。(または、Automation > Automation Settings)

Al Settings Hardware Project Application General Editing Playback Jog/Chas CD/SACC Desktop TimeLine Track He Keys Location Time Stre Time	Record Layout Layout Layout aders Layout aders Layout	Optimizations	rent and locked ver to the number of U ons [000 [ms] Slow 100 [ms]	sions while ndo/Redo 40	e saving [ms]
Apply changes	to Automation				
Load	Save				
	-	7			

オートメーション使用時のシステム・パフォーマンスを管理するオプションです。

Keep only current version while saving をチェックすると、システムはオートメーション・トラックの現在のバージョンのみを保存します。この時、オートメーションの履歴バージョン情報は失われますが、保存にかかる時間は短縮されます。

Limit versions to the number of Undo/Redo をチェックすると、システムは限られた数のバージョン情報をメモリに保存します(この数は、All Settings > Application > Generalページで設定しているUndoの数と同じです)。 履歴に残るオートメーション・バージョンの数は減りますが、パフォーマンスは向上します。

#### **Auto-Release Options**

Auto Releaseを設定すると、オートメーションの記録においてコントロールをリリースした時、またはトランスポート をStopした時に、一つ前のオートメーション・パス(またはデフォルト)へ設定した値(ms)でリリースします。Auto Releaseのボックスに任意の数値を入力して設定してください。

Refresh Rateでは、オートメーション・データを記録するレートを設定します。 デフォルトは、フレームレートの実時間と同じ値です。(フレームレートが25fpsの場合40ms)

リフレッシュ・レートの範囲は、10~100msの間で設定できます。 現在のフレームレートのx1,x2,x3の値で設定すると効果的です。 リフレッシュ・レートを遅く設定できる理由は、複雑なミックスに対しての処理を節約するためです。

Note: この設定は、オートメーションの"滑らかさ"とは関係ありません。Pyramixは、ジッパー・ノイズを回避するためにリニア補間を用います。





# 編集とライブラリーにおけるオートメーション

Automationメニュー内のCut/Copy/Pasteコマンドは、オートメーション・データをコピーする際にも使用できます。 プロジェクト間でコピーを行うことも可能です。

範囲を決めてAutomation > Copy Selected Pointsを選択した後、リストからどのコントロールをコピーするか 選びます。その後、任意の場所(あるいは別プロジェクト)でAutomation > Paste Points to Cursorまたは Paste Points to Original TCを選択します。

**Edit > Enable Automation Cut/Copy/Paste**メニューを有効にすると、クリップを編集した時に関連するオートメ ーション・データへも適用されます。(Cut/Copy/Paste, Auto-Rippleなど) クリップ状態をライブラリーへドラッグして保存する場合も、オートメーションが共に保存されます。

# ミキサーおよびプラグインのスナップショット

ミキサー・スナップショット

ミキサー全体のスナップショットは簡単に保存/リコールを行うことができます。

#### ミキサー・スナップショットの保存

ミキサーのスナップショットを保存するには、Alt + Shiftキーを押しながらミキサーをクリックし、ユーザー・ライブラ リーヘドラッグします。マウスを離すと、ライブラリーにスナップショットが保存されます。スナップショットの名前は、 デフォルトで"Mixer Snapshot"と付きます。変更したい場合は、ライブラリーで任意のミキサー・スナップショット のName部分をクリックして、名前をタイプ入力してください。

#### ミキサー・スナップショットのリコール

ミキサーのスナップショットをリコールするには、ライブラリー内の任意のスナップショットをクリックで選択し、ミキサー上へドラッグしてマウスを離します。ミキサーのすべてのパラメーターは、スナップショットされた値にすべてリセットされます。

Note:ミキサー<sup>,</sup>スナップショットには、プラグインのパラメーターも全て含まれます。

### エフェクト・スナップショット

ミキサー同様に、エフェクトのスナップショットもライブラリーを使用して、マウス・ドラッグ操作で簡単に保存 / リコ ールすることができます。

#### エフェクト・スナップショットの作成

エフェクトのスナップショットを保存するには、Alt + Shiftキーを押しながらプラグイン画面をクリックし、ユーザー・ ライプラリーヘドラッグします。スナップショットの名前は、デフォルトでプラグインの名前が付きます。変更したい場 合は、ライブラリーで任意のエフェクト・スナップショットのName部分をクリックして、名前をタイプ入力してください。

